

緑のカーテン取り組み情報



お名前	株式会社 メイキョー（甲府市）		
育てた植物の種類	ゴーヤ		
設置場所	メイキョー本社南側		
カーテンの大きさ	高さ：約4m, 幅：約10m	取り組み年数	11年目

緑のカーテンの効果

写真にも掲載してありますように、本社南側には、クーラの室外機が並び、それに沿って農業用水路があります。その外側に、プランターを置きゴーヤを毎年育てています。そして、夏場は、クーラを一斉に稼働させるため、暑い空気が室外機から出てきます。その風の影響を抑えるため、緑のカーテンとの間にヨシズを設置しました。

ゴーヤによる緑のカーテンによって、日陰ができると共に、蒸散効果によって、その付近の気温を下げる効果があり電気の使用量の削減につながります。また、カーテン沿いが社員の通路となっていて、視覚的な癒し効果になりました。

育てる際の工夫・苦労

土の部分が少ないため、毎年プランターで育てています。プランターでの育生は、どうしても途中栄養不足になります。追い肥と、腐葉土の追加を行うことが、このゴーヤを育てる上での重要なポイントとなっております。毎日のこまめな水やりと、追肥のタイミングを見落とさない様にしています。

感想・楽しみ方など

ゴーヤの苗は甲府市の温暖化対策地域協議会が開催するセミナーに参加し、そこで配布されたゴーヤの苗で緑のカーテンを育てております。

ゴーヤのプランターが、社員の通路沿いに並んでいるので、そこを通る都度、社員の目に留まることとなります。雄花、雌花の摘み取りや、孫芽の誘引など、こまめに世話をすることが出来ます。そんなこともあり、今年は、昨年より立派なカーテンづくりができたと思います。これからも、継続して緑のカーテンづくりを実施し、少しでも温暖化対策の一環を担うことができたらと考えております。